

レストランや料理店のもてなし、しつらえ、器など、内装や外観、サービスなどは「快適さ」として「フォーク／スプーン」(🍴 から 🍴🍴🍴🍴)で五段階に分類されます。ホテルの快適さは「パビリオン」(🏠 から 🏠🏠🏠)の五段階で表されます。

ミシュランガイド総責任者であるジャン=リュック・ナレは、「3年目の『ミシュランガイド東京』を本日お披露目できることを大変嬉しく思います。今回は3軒の料理店が三つ星に昇格し、43軒が新たにセレクションに加わりました。新しい才能を発掘し、読者の方々にご紹介することはミシュランガイドの使命の一つですので、今年セレクションがこのように素晴らしいものとなったことを喜ばしく思います。私たちのセレクションは、世界中どこでも同じ厳格さをもって評価しています。それだけに、これほど美味しくダイナミックな料理を出している東京のシェフ・料理人の方々は賞賛に値するでしょう。東京、そして日本の読者の皆様が、ガイドブックでご紹介している店で楽しいランチと素晴らしいディナーを楽しんでくださることを願っています」と語りました。

日本ミシュランタイヤ株式会社 代表取締役社長のベルナール・デルマスは、「初めて『ミシュランガイド東京』を発行してから3年が経ち、今年セレクションはこれまでになく充実して興味深いものになったと思います。ミシュランガイドは、世界共通の基準で評価をしているという意味ではグローバルなガイドであり、日本の食文化に詳しい日本人の調査員と編集チームが日本人の読者の皆様に向けて作っているという意味ではローカル重視のガイドブックです。掲載される店もよりバラエティ豊かになりました。『ミシュランガイド東京』を今後長きにわたって発行し続け、東京、そして日本の皆様から真に愛されるガイドブックに育てていく所存です」と述べました。



「ミシュランガイド東京 2010」発売概要

【タイトル】ミシュランガイド東京 2010（日本語版、英語版）

【発売日】2009年11月20日（金）

【価格】日本語版 定価 2,300円＋税、（税込 2,415円）

【日本語版発行】日本ミシュランタイヤ株式会社

* 英語版は、全国主要洋書取扱書店でお求めいただけます。 参考税込店頭価格 2415円

日本語版



©MICHELIN2009

英語版



©MICHELIN2009

「ミシュランガイド東京 2010」の書籍のご紹介、掲載店のご紹介など、直接ミシュランガイドに関わりのある話題以外での表紙画像の利用はご遠慮下さい。これらの画像のご掲載時には “©MICHELIN2009” と表記願います。詳細は、「『ミシュランガイド』表紙画像使用時のお願い」をご参照ください

「ミシュランガイド東京」の掲載レストラン・料理店の一覧は、2009年11月24日までミシュランWEBサイトのニュースリリースのコーナーに掲載している当リリース内からご覧いただけます。リストは報道機関の方々に掲載されている事実・星の数などを参照していただくための参考資料として作成されたものです。そのため掲載店全店をリストとして転載することは、ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

ミシュランガイドについて

最初のミシュランガイド・フランス版は、1900年8月に発行されました。運転手のために作成され、1920年まで無料で配布されていたこのガイドには、タイヤの使い方と修理方法、市街地図のほか、ガソリンスタンド、ホテルと自動車修理店のリストなどの実用的な情報が満載されました。ミシュラン兄弟が目指したのは、自動車の活用を促進し、ひいてはタイヤ市場を発展させていくために、旅をより安全で楽しいものにする、つまり、モビリティを向上させることでした。これは現在もミシュランの地図、ガイドなどの各種刊行物に共通の目標になっています。

ミシュランガイド2010年版は、23カ国をカバーする24種類のコレクションとなります。「ミシュランガイド・ニューヨークシティ 2010」を皮切りに2010年版が順次刊行されていますが、今日現在ミシュランガイド全体（一部は2009年版）で掲載されているレストラン約16,500軒のうち三つ星は81軒、二つ星が298軒、一つ星が1818軒です。

ミシュランは毎年、全世界の90ヶ国を超える国々で、約1,800万部の地図、旅行ガイド、レストラン・ホテルガイドを発行しています。ミシュランガイドは昨年、世界で120万部以上販売され



ました。

ミシュランについて

11万8,000人の従業員を擁し、170カ国以上で事業を展開するミシュランは、タイヤ製造の世界的なリーダーです。持続可能なモビリティの向上を常に追求し、五大洲19カ国の68カ所の製造拠点で、航空機、自動車、自転車、建設用機械、農業用機械、トラック、モーターサイクル、米国スペースシャトルなどのあらゆる種類のタイヤの製造し、販売しています。また、旅行ガイド、ホテル・レストランガイド、地図、ロードアトラスを発行するとともに、電子モビリティサポートサービスの ViaMichelin.com を提供しています。研究開発は、ヨーロッパ、米国と日本にあるテクノロジーセンターで行っています。

日本のミシュランについて

ミシュランの日本における歩みは、1964年、浜松町・羽田空港間に新設されたモノレールへのミシュランスチールラジアル“X”タイヤの採用から始まりました。ミシュランジャパングループには、日本ミシュランタイヤとミシュランリサーチアジアの2社があります。日本ミシュランタイヤは、群馬県太田市の工場ではタイヤを生産するとともに、タイヤの輸入、物流、販売、マーケティング、ガイドブック事業、ライセンスビジネスなどを展開し、モーターサイクル用、乗用車・ライトトラック用、トラック・バス用から、航空機用、建設機械・農業機械用まで、幅広いレンジのタイヤを取り扱っています。ミシュランリサーチアジアは、日本とアジア向けのタイヤの研究開発を担っています。ミシュランは、J.D. パワー アジア・パシフィックが日本で行った2009年日本冬用タイヤ顧客満足度（W-TSI）調査（出典1）で、2004年に同調査が開始されて以来6年連続第1位となりました。また、同社の2008年日本OEタイヤ顧客満足度（OE-TSI）調査（出典2）でも、パセ Jennerカー、SUVの2部門で第1位に輝いています。

出典1：J.D. パワー アジア・パシフィック 2004～2009年日本冬用タイヤ顧客満足度調査SM。2009年調査結果は、3,435名からの冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）についての回答にもとづく（このうちミシュランのオーナーは357名）。2009年3月に郵送によるアンケート形式で調査を実施。対象は新車・中古車を含む自家用乗用車（除軽自動車）用にスタッドレスタイヤを新品で購入した全国のユーザー。ランキング対象メーカーは、ブリヂストン、ダンロップ、ファルケン、グッドイヤー、ミシュラン、トーヨー、ヨコハマ（アルファベット順）。www.jdpower.co.jp*

出典2：J.D. パワー アジア・パシフィック 2008年日本OEタイヤ顧客満足度調査SM。2008年調査は、コンパクトカー、パセ Jennerカー、ミニバン、SUVのオーナーを対象に実施、新車装着タイヤに関して総計6,145名から回答を得た。ミシュランはパセ Jennerカー、SUVの各セグメントで1位（ミシュランのオーナーは2セグメント計309名）。2008年9月に乗用車（除軽自動車）を新車で購入後7～18ヶ月経過した全国のユーザーを対象に、郵送によるアンケート形式で調査を実施。ランキング対象メーカーは、ブリヂストン、コンチネンタル、ダンロップ、グッドイヤー、ミシュラン、トーヨー、ヨコハマ（アルファベット順。ただし、SUVセグメントはコンチネンタル、トーヨー、ヨコハマを除く）。www.jdpower.co.jp

